

17-09-29

県営名古屋空港内において、無人航空機(ドローン)を活用した実証実験に成功しました

名古屋鉄道株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:安藤隆司)、中日本航空株式会社(本社:愛知県西春日井郡豊山町、代表取締役社長:柴田拓)、株式会社コハタ(本社:北海道旭川市、代表取締役社長:木幡光範)、テラドローン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:徳重徹)は、共同で無人航空機(以下、ドローン)による滑走路や施設点検の実用化に向けた実証実験に成功しました。

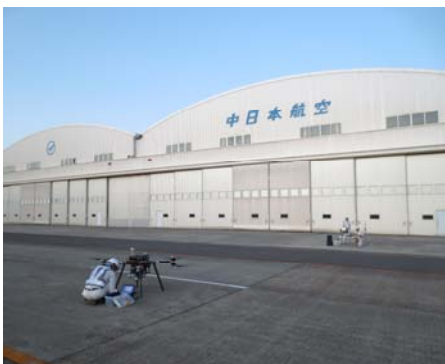
今回実施した実証実験は、県営名古屋空港内の駐機場および中日本航空株式会社の社屋上において、ドローン搭載型レーザ計測装置(TOKI)による3次元計測と空撮用ドローンによる運行管理を行い、路面および建屋のデータ収集を図りその状態を把握するためのもので、今回の実験では計3回(約15分)の計測飛行を行いました。

今後も今回の成果を活かし、ドローンによる施設点検サービスの実用化に向けた取り組みを進め、将来的には空港における施設点検の効率的な体制づくりを目指します。

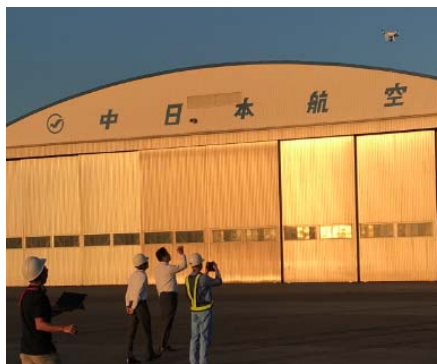
詳細は下記のとおりです。

記

- 1.実験内容 ドローンによる滑走路や施設点検の実用化に向けた実証実験
 - ・ドローン搭載型レーザ計測装置(TOKI)による格納庫・路面・施設点検
 - ・空撮用ドローンによる撮影
 - ・ソフトウェア(TERRA UTM)による運行管理
- 2.日 時 9月1日(金) 5:00~6:00
- 3.場 所 県営名古屋空港内の駐機場および中日本航空株式会社社屋周辺
※その他詳細については別紙をご参照ください。



実証実験風景



ソフトウェアによる運行管理

以上

【会社概要】

○株式会社コハタ

設 立:1955 年

資 本 金:7,500 万円

事業内容:農薬・農業資材をはじめ、施設資材、包装資材、暗渠資材、植物活性剤などを JA や取次店へ供給する流通商社です。また、農業を基軸として農業土木から発展した建設工事業林業薬剤散布から始まり、物資の輸送業務から救急医療現場へのヘリコプター使用事業のサポート業務等、幅を広げ多角的に経営を行っています。

○テラドローン株式会社

設 立:2016 年

資 本 金:1 億 3,300 万円

事業内容:土木測量、鉱山測量、橋梁等施設・インフラ点検などの産業向けドローンサービスのグローバルプロバイダー。年間 400 件以上のサービス提供実績と共に、ドローンの運行管理(TerraUTM)および画像解析(TerraMapper)のソフトウェア開発力も強み。

【ドローン概要】

○ドローン搭載型レーザ計測装置(TOKI)

サ イ ズ:1.5m×1.5m

飛行時間:20 分

重 量:約 30kg

搭載機材:VUX-1(Riegl 製)



○空撮・運行管理用ドローン(Phantom4 Pro)

サ イ ズ:30cm×30cm

飛行時間:30 分

重 量:1.4kg

搭載機材:カメラ



○運行管理に使用したソフトウェア

今回使用したソフトウェア Terra UTM (UAV traffic management)は、安心・安全なドローンの自動運行を実現するためにテラドローンが開発するソフトウェアで、飛行前に地図や気象情報に沿って飛行プランを設定すると、飛行中には多数のドローンの動向をリアルタイムでモニタリングでき、指定した地点で動画像を撮影することが可能です。飛行終了後には、飛行記録の管理、撮影情報の保管・再生という一連の過程を全てこのソフトウェア 1 つで行えます。

以上